

はち た ろう 八太郎遺跡

(岩船郡神林村大字上助淵字八太郎ほか)

八太郎遺跡は旧岩船潟北縁部にあります。この遺跡は丘陵間の谷部にあり、現在は水田となっています。発掘調査は日本海沿岸東北自動車道建設に伴い本年度4月から6月にかけて行いました。

調査では現在の水田から1.2メートルほどの深さで2筋の川の跡を確認しました。このうち東側の川には「L」字状に打ち込まれた杭列が見つかりました。

調査によって、川の一部を方形に掘り込み、杭に横木を組み込んだ水を溜めるための施設であることがわかりました。さらに上流側には粘土（写真上部黄色部分）を貼り、流れ込む水の量を調整した工夫がみられます。

遺物は木製品が多く、加工途中の材、櫛、箸状木製品が出土し、土器は中世の皿の底部が出土しました。遺物の様相から、この遺構は中世に使用されていたと考えられます。今後、杭の放射性炭素年代測定とあわせ、この遺構の年代を検討していきます。

現時点ではこの遺構が水を溜めて何に使われたのか、具体的な用途は解明できていませんが、当時の人々が使用した「水場遺構」として注目されます。

(株)シン技術コンサル 伊比博和)



「水場遺構」出土状況

埋文インフォメーション

第14回遺跡発掘調査報告会開催のお知らせ

第14回遺跡発掘調査報告会を下記のとおり開催いたします。今回は当事業団が平成17・18年度に発掘調査した遺跡のうち、5遺跡についてスライドを使った調査報告を行います。また、この5遺跡を含む12遺跡について出土品及び写真パネルの展示を行います。

なお、当日は糸魚川市教育委員会の発掘調査報告及び出土品展示もあります。

事前の申し込みは不要です。皆様のご来場をお待ちしております。

日時 8月26日(日)

会場 青海総合文化会館(JR青海駅下車徒歩10分、駐車場251台)

日程 9:00～

開場

10:30～12:00 遺跡発掘調査成果報告(糸魚川市教育委員会)

展示解説 第1回12:30～/第2回13:30～

13:45～15:45 遺跡発掘調査報告(大角地、延命寺、岩ノ原、山岸、田屋道)

* 詳細は当事業団ホームページをご覧ください。

